

漢方からみる臓腑弁証②胃・脾

いが漢方内科金のさじ診療所

伊賀文彦

胃の弁症

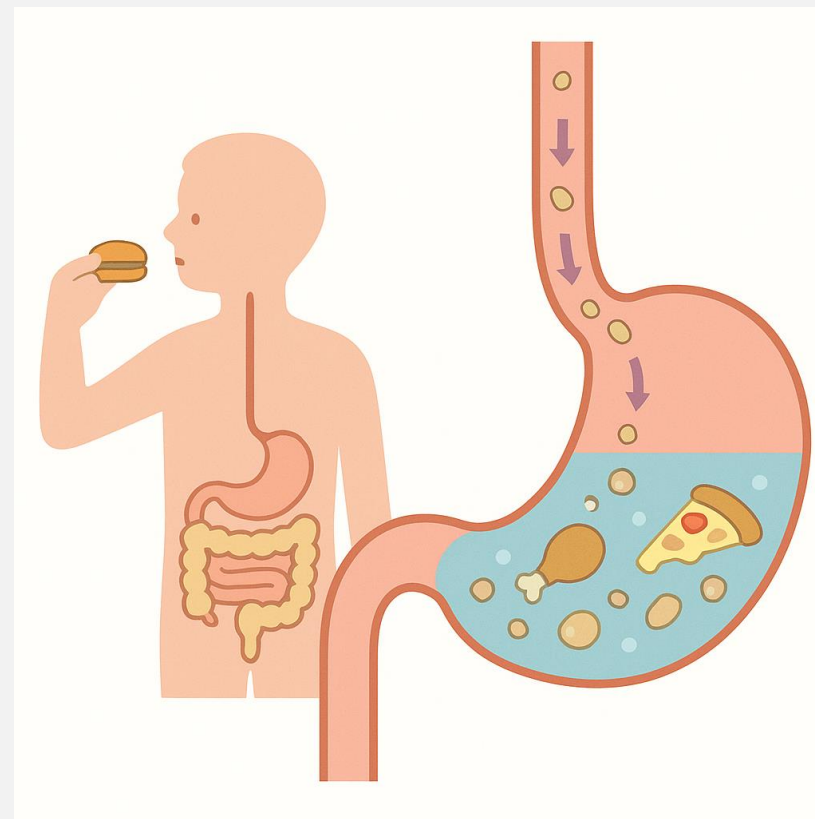


胃の生理機能

- 水穀を受納する
- 水穀を腐熟する
- 降濁を主る
- 湿を好み燥を悪む

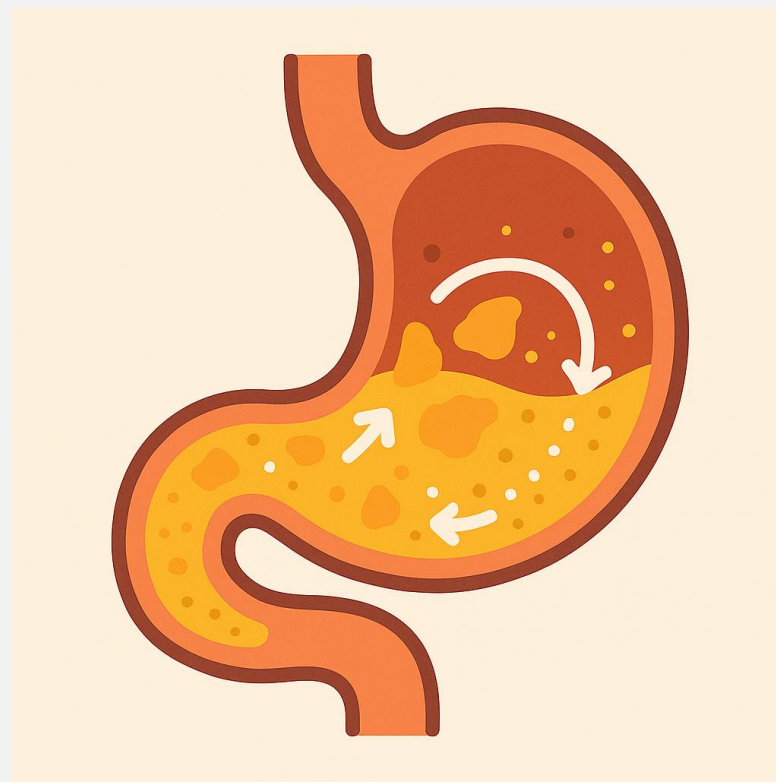
水穀を受納する

- 胃は食べ物を受け入れる（受納する）器官
- 受納出来ないと食べれなくなる（少し食べるだけでお腹いっぱいになる）
- 一番多いのは胃気虚

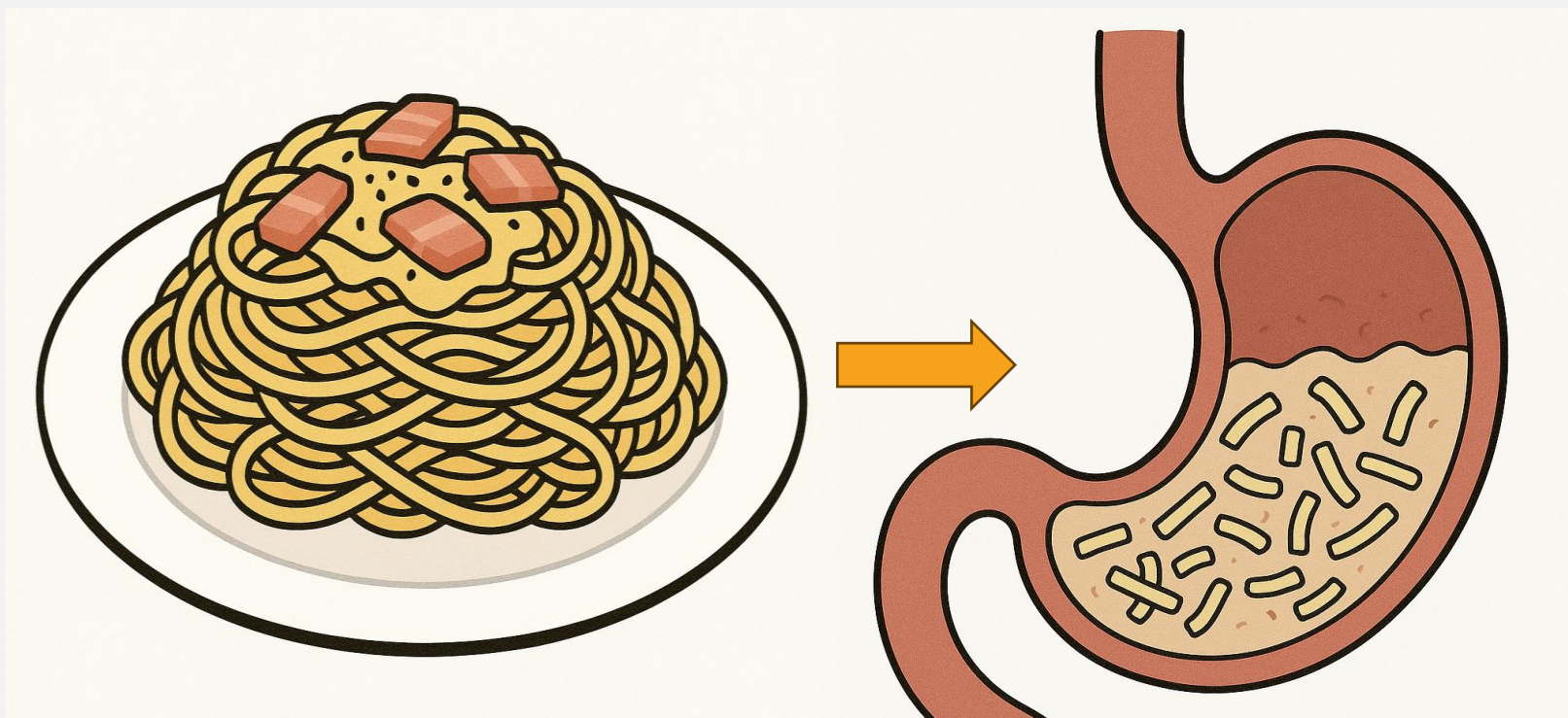


水穀を腐熟する

- 食事が胃に入ると、胃壁の運動、消化液等により少しずつ溶けて内容物が小さくなっていく。
- これが十分に出来ないと固形物に残り、痰に近い湿邪（痰湿）になると考えられる。



腐熟の過程



痰邪・湿邪・飲邪のイメージ



痰邪



湿邪



飲邪

胃気虚

- 症状：元気がない
- 疲れやすい
- 食欲不振
- （食べるとすぐお腹が一杯になる）
- 胃もたれ、胃の痞え感
- 食後すぐの疲労感
- 軟便または泥状便
- 所見：舌：舌淡紅、苔薄白またはやや膩
- 脈虚弱あるいは緩



六君子湯

• 人參	甘微苦	平	大補元氣	補脾益肺	復脈固脫	生津	補氣
• 大棗	甘	溫	補中益氣	養血安神			
• 甘草	甘	平	補脾益氣	養陰止咳	緩急止痛	清熱解毒	
調和諸藥							
• 生姜	辛	溫	解表散寒	溫中止嘔	化痰止咳		降濁
• 半夏	辛	溫	燥濕化痰	降逆止嘔	消痞散結	消腫止痛	
• 陳皮	辛苦	溫	理氣健脾	燥濕化痰			化痰腐熟
• 白朮	甘苦	溫	健脾益氣	燥濕利尿	止汗	安胎	
• 茯苓	甘淡	平	利水滲濕	健脾寧心			

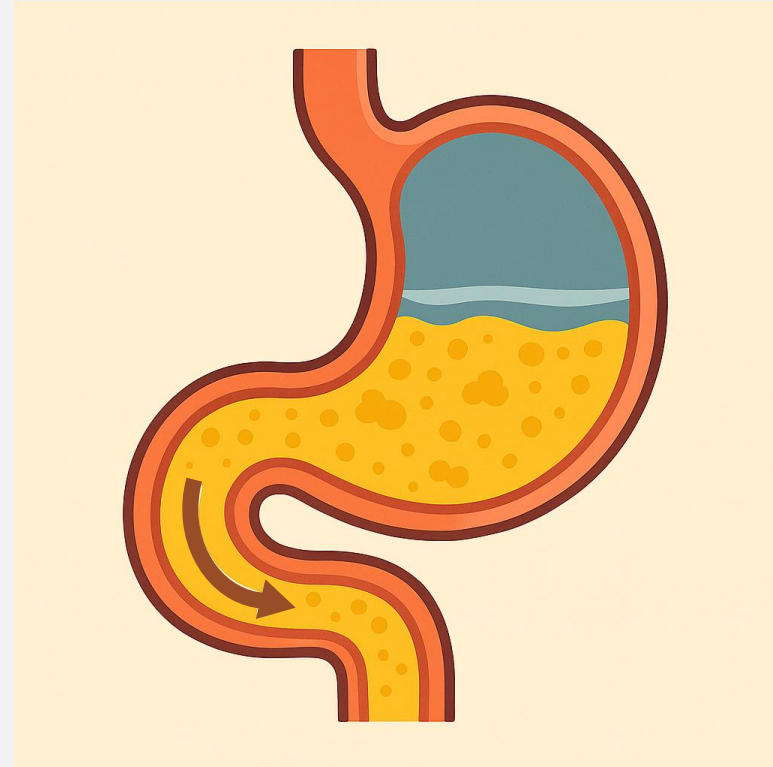
大棗

- 大棗
- 甘
- 温
- 補中益氣
- 養血安神



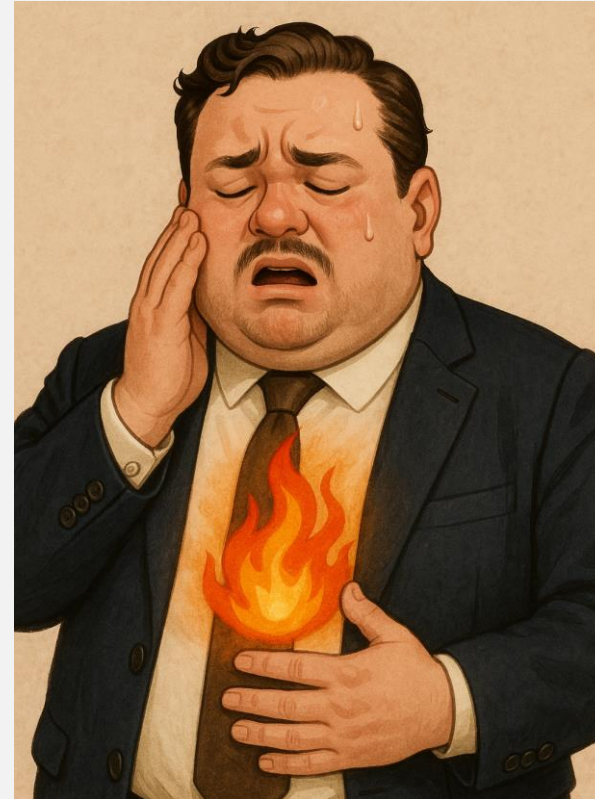
降濁を主る

- 胃の中で腐熟し粘稠になった内容物は下降し脾に送られる
- これがうまくできないと内容物が食道に逆流したり、ゲップが出たりする
- 最も多い原因は胃熱



胃熱（実熱）

- 症状：上腹部の灼熱痛
- 吞酸
- 口苦
- 胸やけ
- 口渇があり冷たい物を好む
- 食べても空腹感がある
- 口臭
- 所見：舌紅 苔黄 脈滑数



黃連解毒湯

- 黃連 苦 寒 清熱解毒 燥濕 瀉火解毒
- 黃芩 苦 寒 清熱解毒 涼血 燥濕 安胎
- 黃柏 苦 寒 清熱解毒 涼血 解毒疔瘡
- 山梔子 苦 寒 清熱解毒 徐煩 利濕 涼血止血

黃連

- 苦
- 寒
- 清熱解毒
- 燥濕
- 瀉火解毒



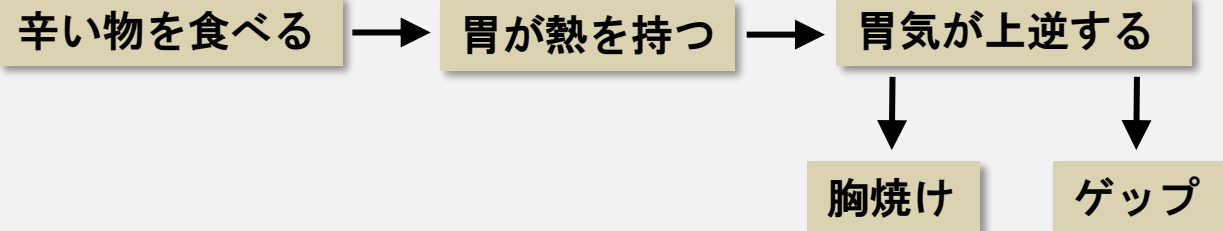
ケーススタディ

- 40代男性、最近仕事の付き合いで外食する機会が多く、胃の調子が悪い。
- 特に火鍋を食べてから胃が熱い感じでゲップがよく出る。胸焼けもある。
- 胃痛、胃もたれ、下痢はない。
- 脈やや滑数 舌淡紅 苔黄



症例分析

＜病態＞



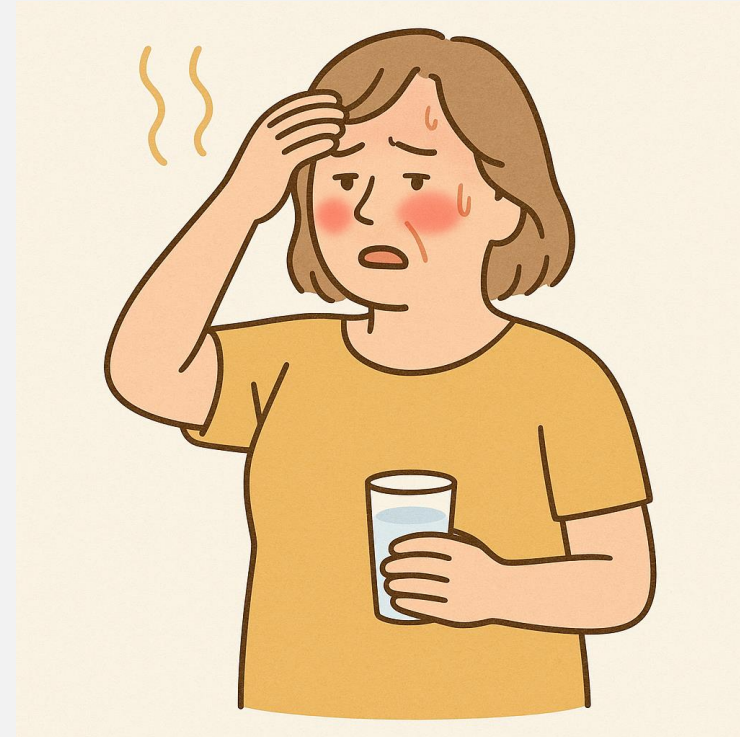
＜弁証＞胃熱

＜治法＞清熱降気

＜方剤＞黄連解毒湯

胃陰虚

- 症状：口や喉の乾燥
- 上腹部の鈍痛
- 空腹感はあるが食べたくない
- 乾嘔
- 便秘
- 所見：舌紅絳、苔少、脈細数



麦門冬湯

- 麦門冬 甘微苦 微寒 養陰生津 潤肺清心
- 半夏 辛 溫 燥濕化痰 降逆止嘔 消痞散結 消腫止痛
- 粳米 甘 平 補中益氣 健脾和胃 除煩 止痢
- 人參 甘微苦 平 大補元氣 補脾益肺 復脈固脫 生津
- 大棗 甘 溫 補中益氣 養血安神
- 甘草 甘 平 補脾益氣 養陰止咳 緩急止痛 清熱解毒 調和諸藥

麦門冬

- 麦門冬
- 甘微苦
- 微寒
- 養陰生津
- 潤肺清心



胃痛

- 胃痛は臨床的にみて胃が冷えたときストレスがかかったときに出ることが多いです。
- ここでは胃が冷えたときについてみていきます。



胃寒

- 症状：上腹部の冷え痛み
- （温めると軽減する）
- 口渇が無い
- 唾や涎が多い
- 所見：舌淡白 苔白滑
- 脈遅あるいは弦



安中散

- 桂皮 辛甘 大熱 補火助陽 溫經通脈 散寒止痛
- 延胡索 辛苦 溫 活血止痛 理氣
- 牡蛎 鹹 微寒 重鎮安神 平肝潛陽 收斂固澁 軟堅散結
- 縮砂 辛 溫 化濕開胃 溫中止瀉 安胎
- 良姜 辛 熱 溫胃散寒 消食止痛
- 甘草 甘 平 補脾益氣 養陰止咳 緩急止痛 清熱解毒 調和諸藥

延胡索

- 辛苦
- 温
- 活血止痛
- 理气



ケーススタディ

19歳、大学生の男性。夏場暑くて氷の入ったドリンクをたくさん飲んだらその後からみぞおちが痛くなった。

脈沈弦 舌淡白 苔白



症例分析

＜病態＞

冷たい物を食べる



胃が冷える



気機が滞る



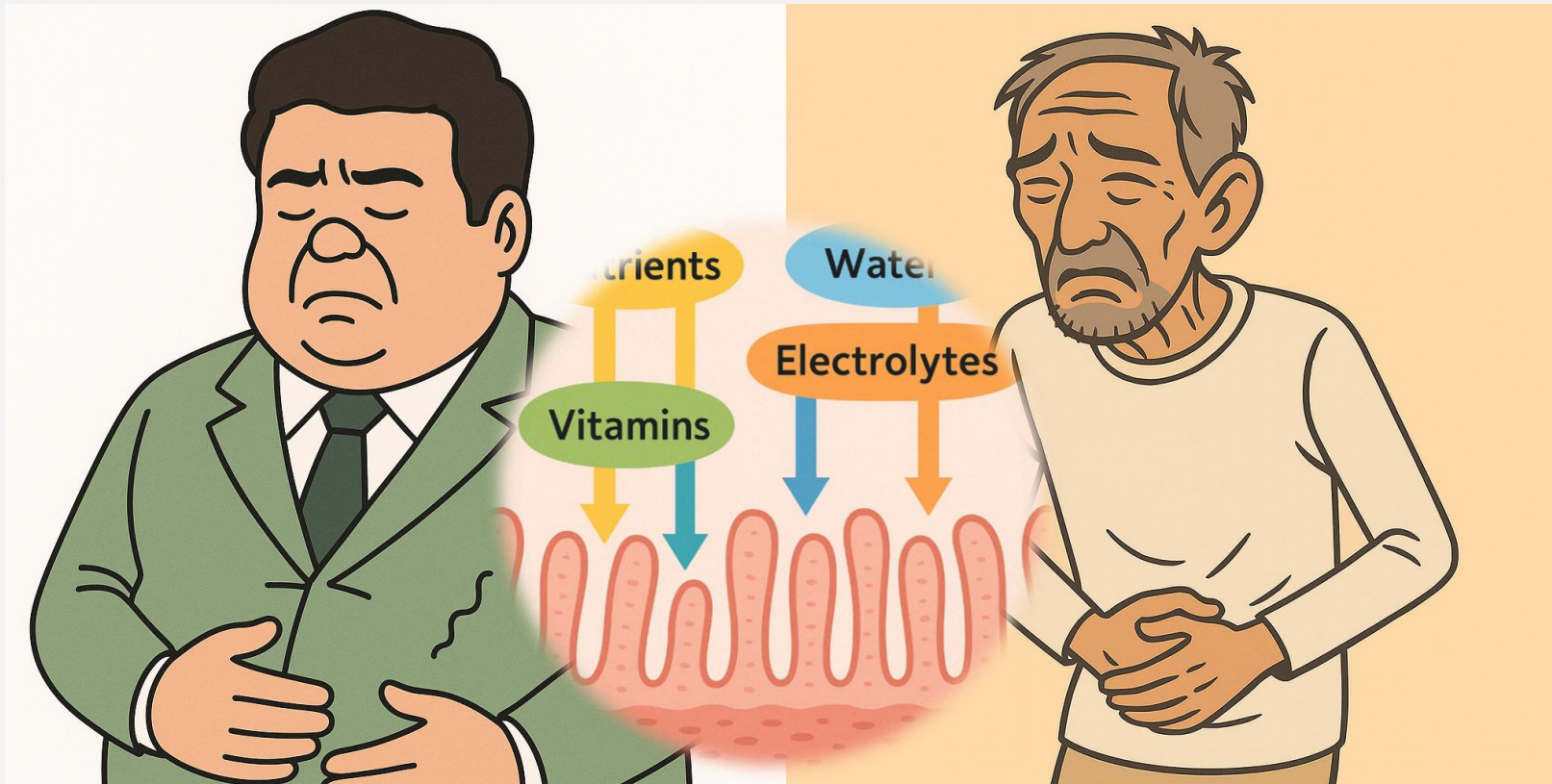
胃痛

＜弁証＞胃寒

＜治法＞温胃止痛

＜方剤＞安中散

脾の弁証

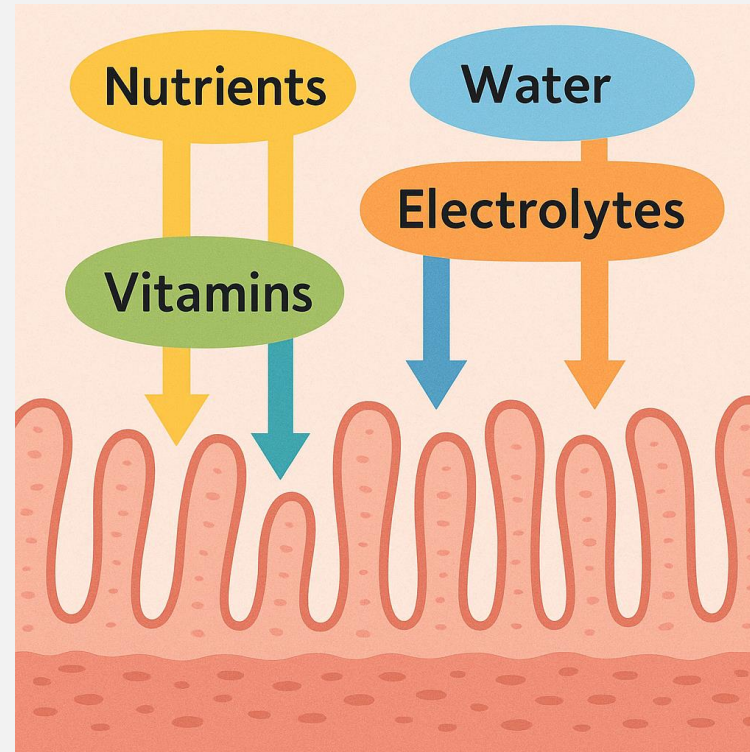


脾の生理機能

- 脾は運化を主る
- 脾は昇清を主る
- 脾は生血、統血する
- 脾は肌肉を主る
- 脾は四肢を主る
- 脾の華は唇にある
- 涎は脾液である
- 脾は口に開竅する
- 脾は燥を好み湿を悪む
- 後天の本である
- 脾の志は思である

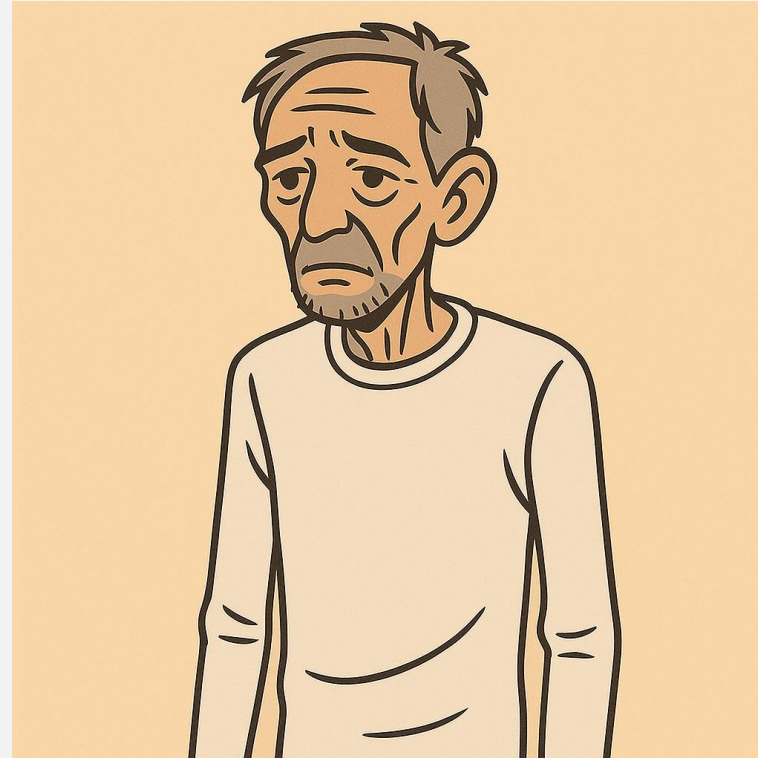
脾は運化を主る

- 脾は水穀の精微（気・血・津液の源）を**吸収**する
- 水穀の精微から気・血・津液のもとになるものを**化生**する
- それを心（血を化生）、肺（気を化生）を経て全身に**輸布**する
- 運化が出来ないと水穀の精微を吸収できず、腹部膨満感、下痢が出現する。経過が長引くと体重減少も生じる。
- 水穀の精微を輸布出来ず、気血が不足する。



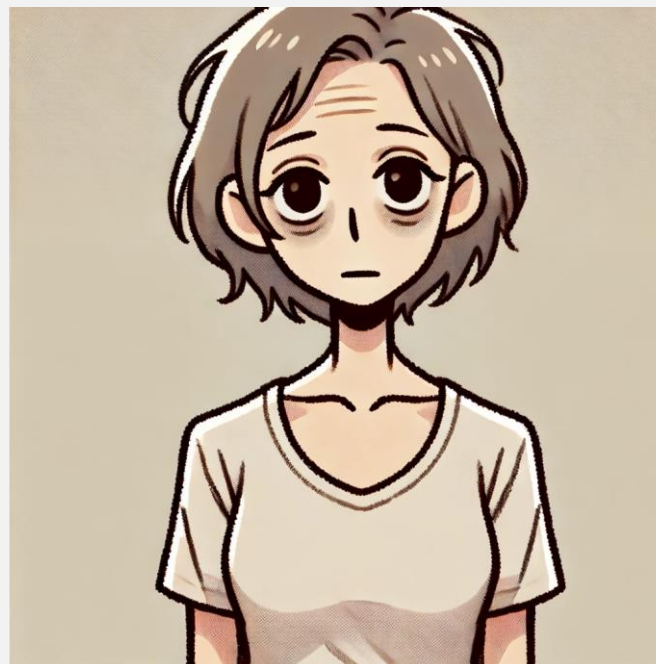
運化がうまく出来ない①

- 水穀の精微が吸収されないため、
気血が作られず倦怠感が生じ、
体重も減少する
- 多くは脾気虚



脾気虚

- 症状：元気が無い
- 気力が無い
- 疲れやすい
- 食欲不振
- 腹部膨満感
- 下痢
- 体重減少
- 所見：脈が細無力、舌淡紅 苔白

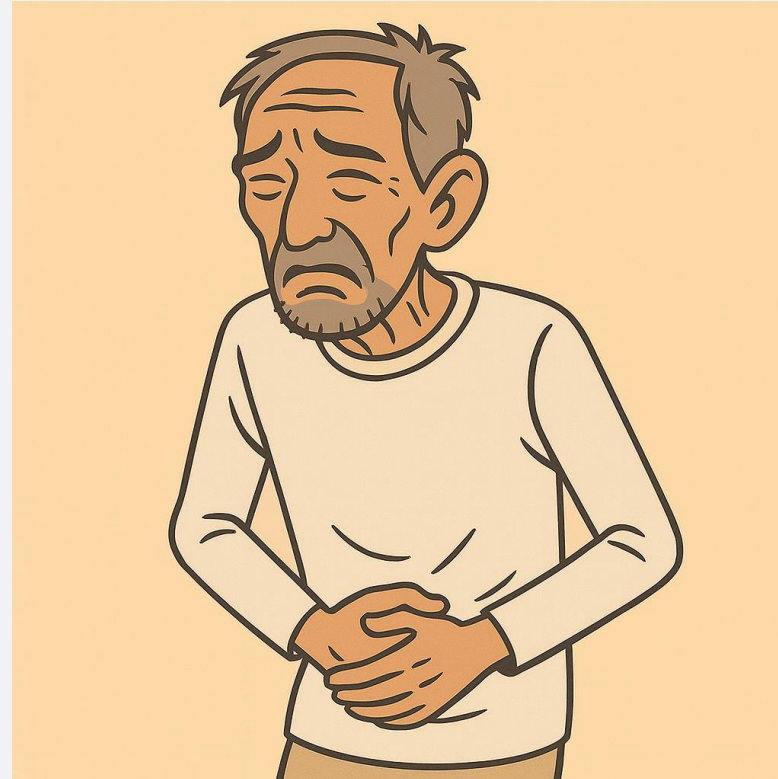


香砂六君子湯

• 人參	甘微苦	平	大補元氣	補脾益肺	復脈固脫	生津	補氣
• 大棗	甘	溫	補中益氣	養血安神			
• 甘草	甘	平	補脾益氣	養陰止咳	緩急止痛	清熱解毒	
			調和諸藥				
• 生姜	辛	溫	解表散寒	溫中止嘔	化痰止咳		降濁
• 半夏	辛	溫	燥濕化痰	降逆止嘔	消痞散結	消腫止痛	
• 陳皮	辛苦	溫	理氣健脾	燥濕化痰			去濕
• 白朮	甘苦	溫	健脾益氣	燥濕利尿	止汗	安胎	
• 茯苓	甘淡	平	利水滲濕	健脾寧心			
• 縮砂	辛	溫	化濕開胃	溫中止瀉	安胎		
• 香附子	辛微苦	微寒	理氣解鬱	調經止痛			

運化がうまく出来ない②

- 水穀の精微が吸収されず、これらが湿邪となって下痢になる。
- この場合臨床的には虚実で言うと虚がほとんどで、さらに脾は熱を持つことが基本的にないので脾気虚あるいは脾陽虚になる



脾陽虚

- 症状：冷え症
- 冷たい物で腹痛、下痢
- 腹部膨満感
- 所見：脈沈 舌淡白 苔白



人參湯

- 人參 甘微苦 平 大補元氣 補脾益肺 復脈固脫 生津
- 乾姜 辛 大熱 補火助陽 溫中散寒 溫肺化飲
- 蒼朮 辛苦 溫 燥濕健脾 去風散寒 明目
- 甘草 甘 平 補脾益氣 養陰止咳 緩急止痛 清熱解毒 調和諸藥

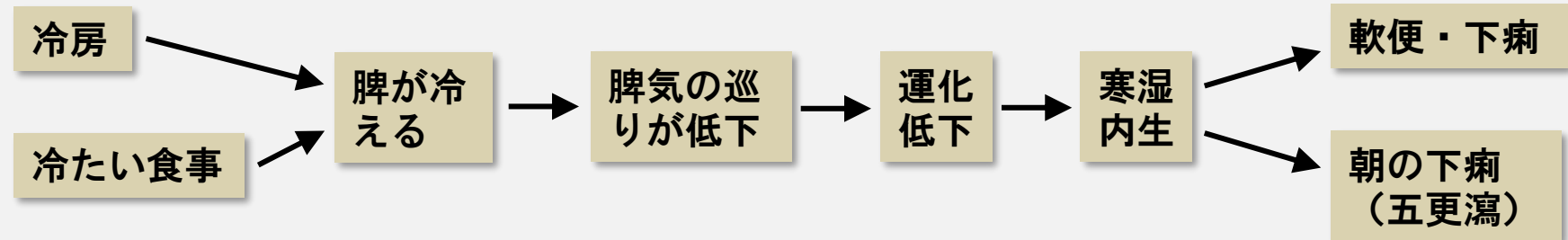
ケーススタディ

- 20代女性、3ヶ月前からお腹の調子がよくない。便通は1日2, 3回で軟便が多く、特に朝の便は下痢になりやすい。事務職だが職場の冷房が強く、日中も冷たいものを食べて冷えると下痢することがある。倦怠感はない、胃の調子も悪くない。
- 脈沈 舌やや淡白 苔白やや膩



症例分析

<病態>



<弁証> 脾陽虚

<治法> 温脾去湿

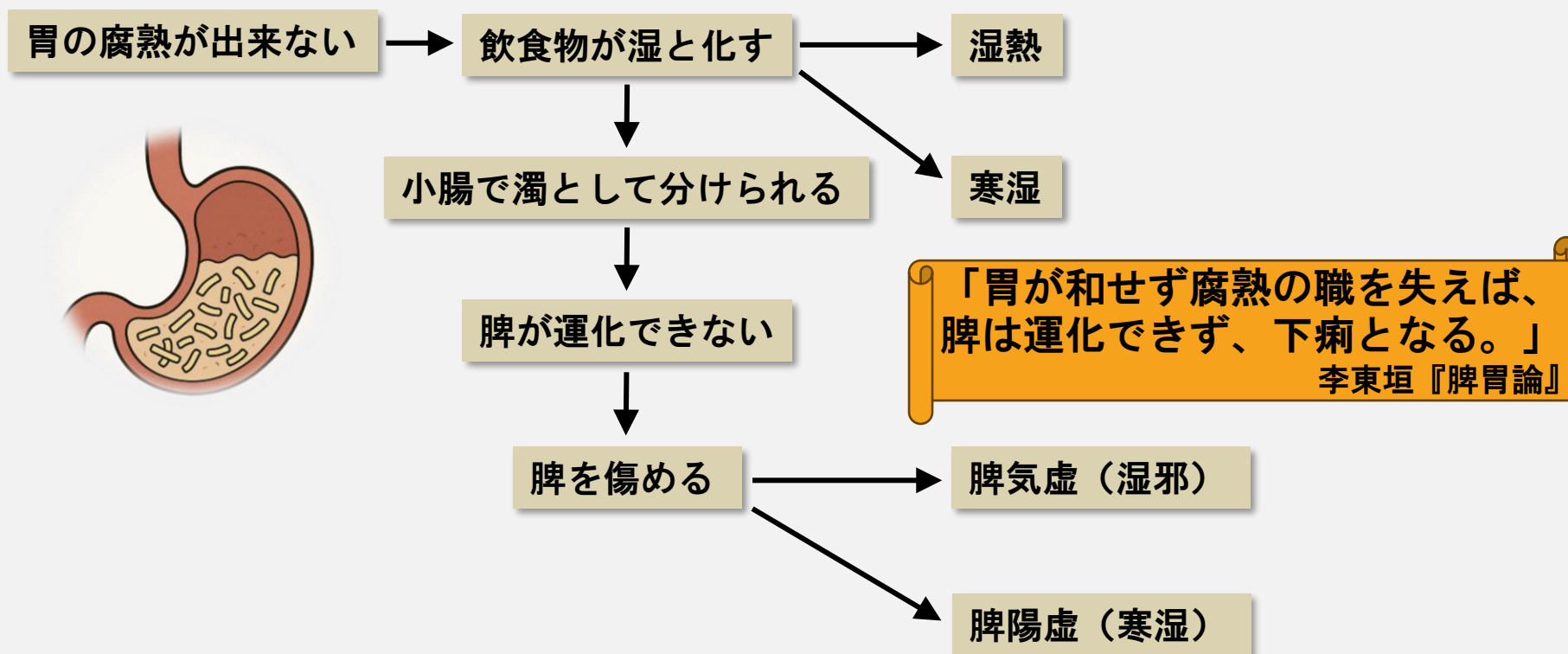
<方剂> 人參湯

乾姜

- 乾姜
- 辛
- 大熱
- 補火助陽
- 溫中散寒
- 溫肺化飲



下痢は胃が原因でも脾が原因でも生じる



胃の湿邪と脾の湿邪

弁証	方剤
胃湿熱	連朴飲 （平胃散＋黄連解毒湯）
胃寒湿	平胃散
脾気虚（湿邪）	香砂六君子湯 参苓白朮散
脾陽虚（寒湿）	人参湯

胃の寒湿

- 症状：胃部膨満感
- 胃痛
- 悪心、嘔吐
- 下痢
- 体が重だるい
- 所見：脈沈滑 舌淡白 苔白膩



平胃散

- 蒼朮 辛苦 溫 燥濕健脾 去風散寒 明目
- 厚朴 苦辛 溫 燥濕消痰 下氣除滿
- 陳皮 辛苦 溫 理氣健脾 燥濕化痰
- 生姜 辛 溫 解表散寒 溫中止嘔 化痰止咳
- 大棗 甘 溫 補中益氣 養血安神
- 甘草 甘 平 補脾益氣 養陰止咳 緩急止痛 清熱解毒 調和諸藥

厚朴

- 厚朴
- 苦辛
- 温
- 燥湿消痰
- 下气除满



胃の湿熱

- 症状：胃部膨満感
- 胃痛
- 吞酸
- ゲップ
- 胸焼け
- **口臭**
- 下痢
- 所見：脈滑 舌紅 苔黄膩



連朴飲

- 芦根 甘 寒 清熱生津 徐煩 止嘔 利水
- 淡豆豉 苦辛 涼 解表 除煩 宣發鬱熱
- 山梔子 苦 寒 清熱解毒 除煩 利濕 涼血止血
- 厚朴 苦辛 溫 燥濕消痰 下氣除滿
- 黃連 苦 寒 清熱解毒 燥濕 瀉火解毒
- 石菖蒲 辛苦 溫 開竅醒神 化濕和胃 安神益志
- 半夏 辛 溫 燥濕化痰 降逆止嘔 消痞散結 消腫止痛

参苓白朮散

- | | | | | | | |
|-------|-----|----|------|------|------|-----------|
| • 人參 | 甘微苦 | 平 | 大補元氣 | 補脾益肺 | 復脈固脫 | 生津 |
| • 山藥 | 甘 | 平 | 補脾養胃 | 生津益肺 | 補腎澁精 | |
| • 甘草 | 甘 | 平 | 補脾益氣 | 養陰止咳 | 緩急止痛 | 清熱解毒 調和諸藥 |
| • 白朮 | 甘苦 | 溫 | 健脾益氣 | 燥濕利尿 | 止汗 | 安胎 |
| • 茯苓 | 甘淡 | 平 | 利水滲濕 | 健脾寧心 | | |
| • 薏苡仁 | 甘淡 | 涼 | 健脾滲濕 | 消腫除痺 | 清熱排膿 | |
| • 白扁豆 | 甘 | 微溫 | 健脾化濕 | 和中消暑 | | |
| • 蓮子 | 甘澁 | 平 | 補脾止瀉 | 益腎澁精 | 養心安神 | |
| • 桔梗 | 苦辛 | 平 | 宣肺去痰 | 利咽 | 排膿 | 宣肺通便 |
| • 縮砂 | 辛 | 溫 | 化濕開胃 | 溫中止瀉 | 安胎 | |

香砂六君子湯と参苓白朮散の使い分け

- 香砂六君子湯は化痰作用もあり脾胃両方に有効
- 参苓白朮散は脾の湿邪に特に有効



香砂六君子湯



胃と脾の湿邪の組み合わせと処方

	脾気虚（湿邪）	脾陽虚（寒湿）
胃の湿熱	黄連解毒湯＋参苓白朮散	半夏瀉心湯 寒熱錯雜
胃の寒湿	平胃散	平胃散＋人参湯

半夏瀉心湯

• 半夏	辛	温	燥湿化痰	降逆止嘔	消痞散結	消腫止痛
• 黃連	苦	寒	清熱瀉火	解毒	燥湿	涼血
• 黃芩	苦	寒	清熱解毒	涼血	燥湿	安胎
• 乾姜	辛	大熱	補火助陽	温中散寒	温肺化飲	
• 人參	甘微苦	平	大補元氣	補脾益肺	復脈固脫	生津
• 大棗	甘	温	補中益氣	養血安神		
• 甘草	甘	平	補脾益氣	養陰止咳	緩急止痛	清熱解毒 調和諸藥

寒熱どちらにも効く

寒熱錯雜にもよい

半夏

- 半夏
- 辛
- 温
- 燥湿化痰
- 降逆止呕
- 消痞散结
- 消腫止痛



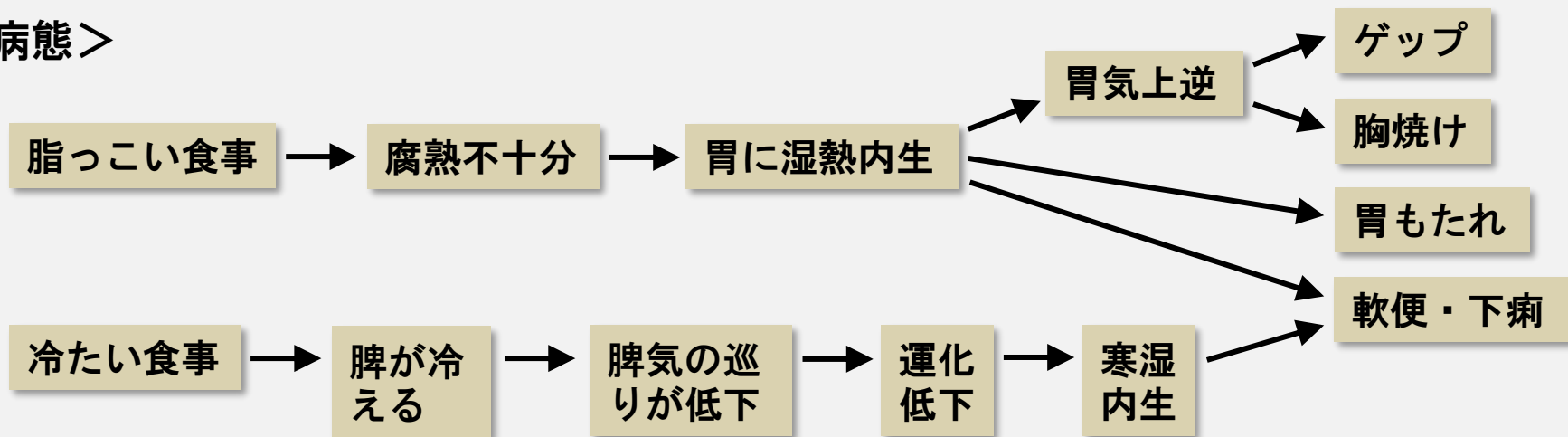
ケーススタディ

- 40代男性。半年前から単身赴任になって外食が多くなり、胃もたれ、ゲップ、軟便があるいは下痢が頻繁にでるようになった。特に脂っこい物や冷たい物を食べると下痢する。胸焼けも時々でる
- 脈やや滑 舌淡紅 苔黄膩



症例分析

<病態>



<弁証> 胃湿熱＋脾陽虚（寒熱錯雑証）

<治法> 清胃温脾、去湿

<方剤> 半夏瀉心湯

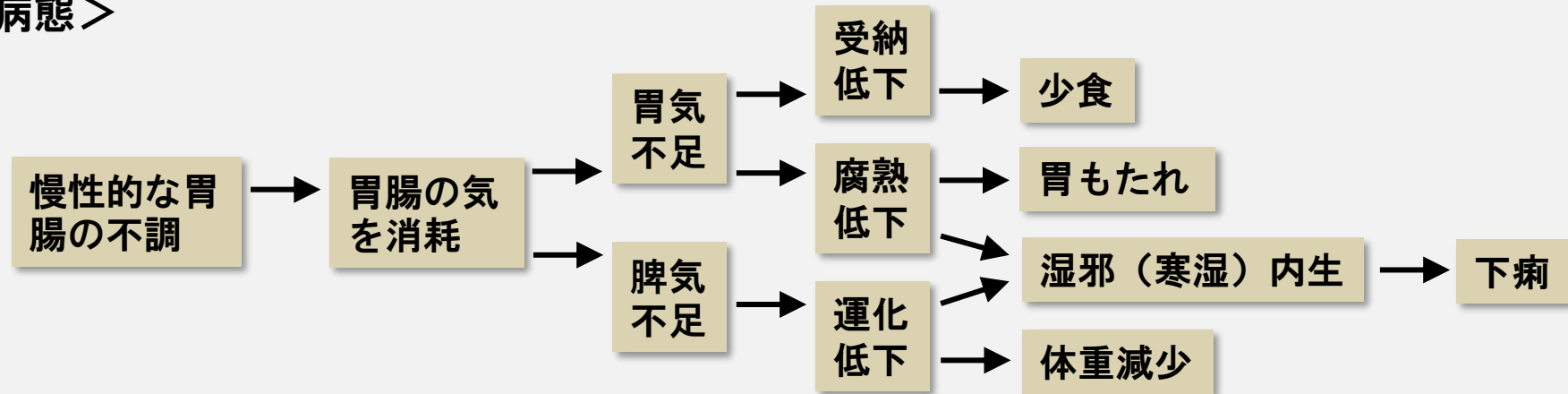
ケースタディ

- 60代女性。40代の頃から胃腸の調子が悪く、胃が張ってもたれやすく、沢山は食べれない。下腹部も張ることがよくあり、ガスがよくでる。
- 便は基本軟便で、調子が悪いと1日2, 3回下痢する。冷たい物や脂っこいもので調子悪くなる。
- 疲れやすい。この3年で体重が5kg減っている。
- 脈滑重按無力 舌やや淡 苔白膩



症例分析

<病態>



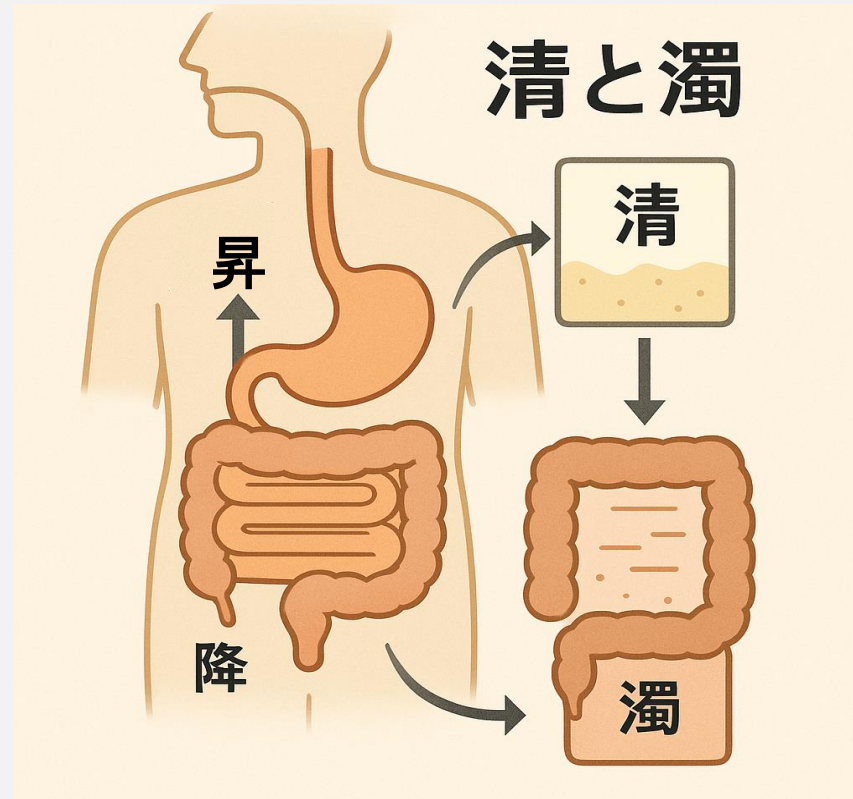
<弁証>脾胃気虚生湿

<治法>清胃温脾、去湿

<方剤>平胃散＋人參湯

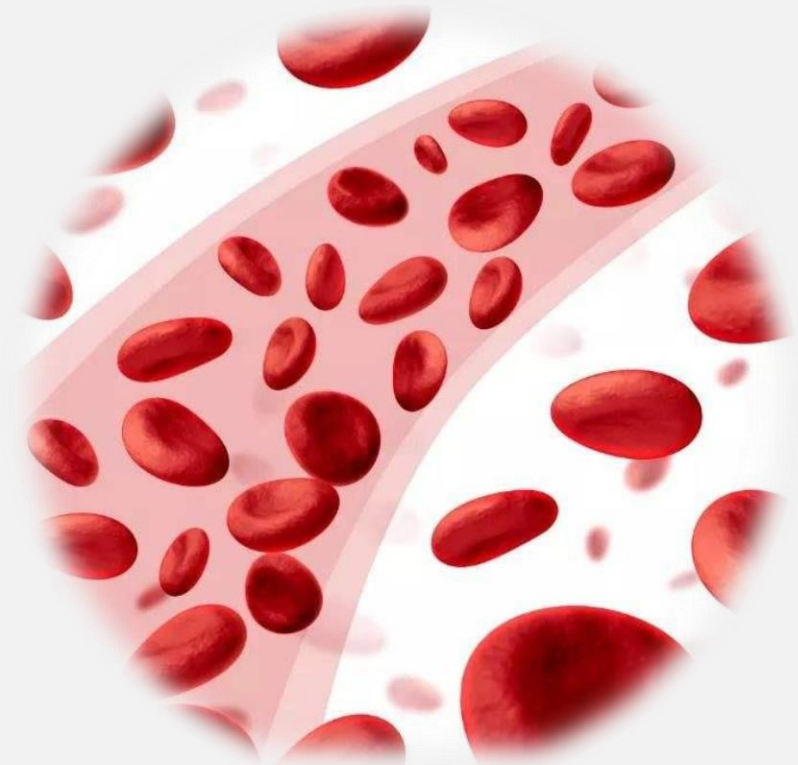
脾は昇清を主る

- 脾は吸収した水穀の精微（清濁で分けると清）を上を持ち上げ、肺・心・頭目に送る
- 昇清が出来ないと清陽が頭目に届かず、清明な感覚、思考を維持できなくなり、頭重、眩暈、目のかすみなどが生じる



脾は生血・統血する

- 脾で吸収される水穀の精微は心で化生される血の源となる
- さらに水穀の精微は肺で化生される宗気の源となり、気は固摂作用により血を統血する



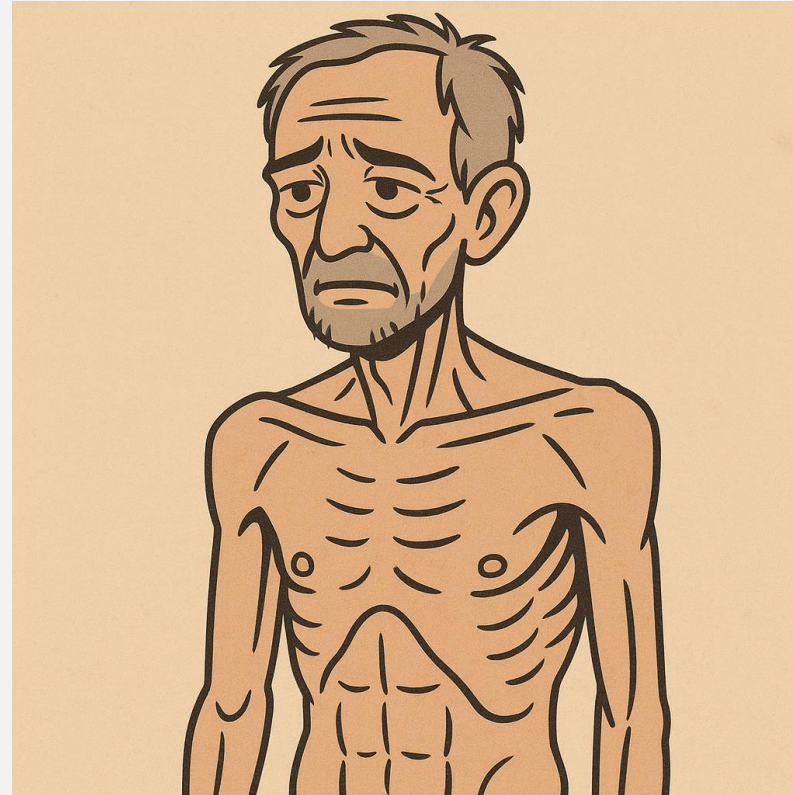
当帰補血湯

- 当帰 甘辛 温 補血活血 調經止痛 順調通便
- 黄耆 甘 微温 益氣固表 托毒生肌 利水消腫

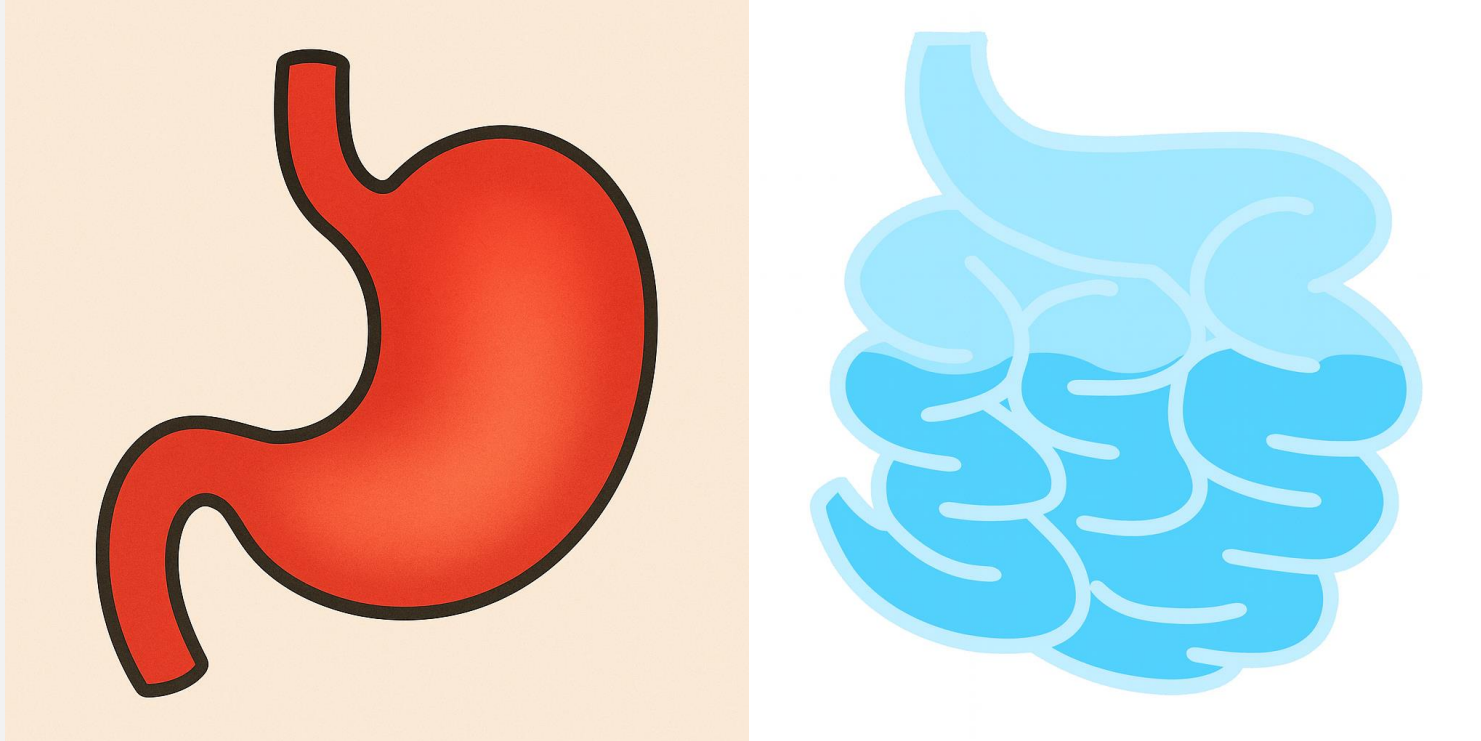
当帰2錢（6g） 黄耆1両（30g）

脾は四肢を主る、筋肉を主る

- 「脾胃は後天の本、気血の生化の源である。」李東垣
- この気血が筋肉を滋養する
- 脾が衰えると気血が不足し、筋肉を滋養できず、手足に力が入らず衰え痩せる。

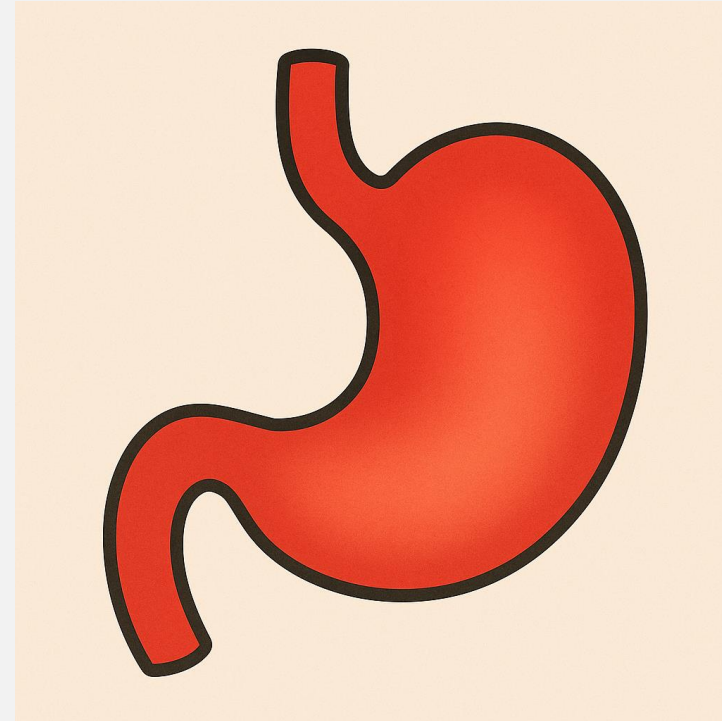


胃と脾の違い



有胃氣則生、無胃氣即死

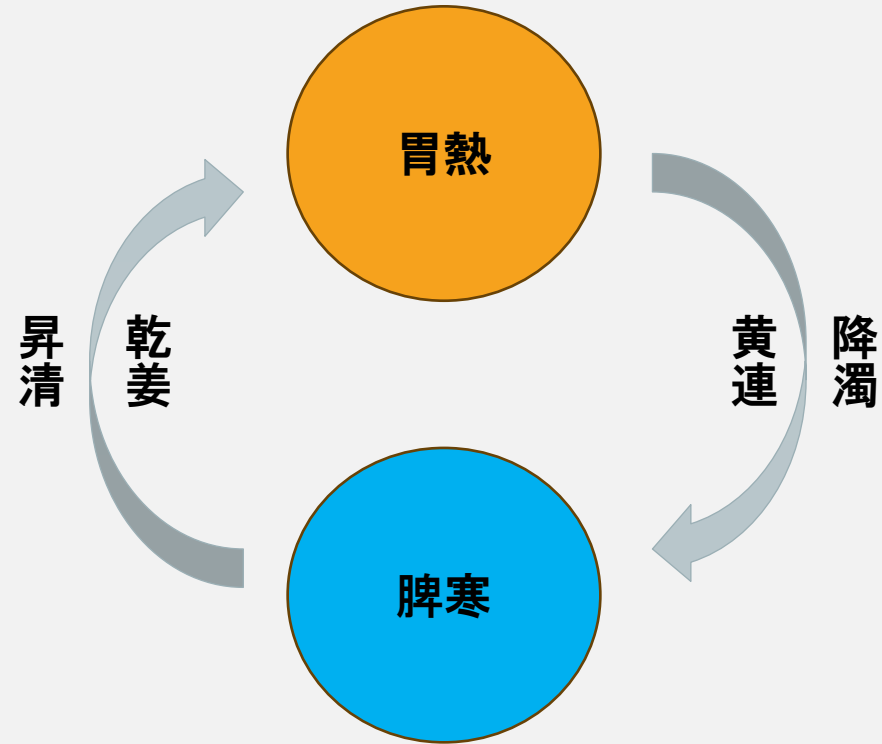
- 胃氣は人体においてとても重要な気であり、その為他の臓腑に比べ胃氣は強いことが多いです。
- 胃氣が強い→胃の働きが活発になるとともに胃が化熱する。



胃は湿を好み燥を悪む
脾は燥を好み湿を悪む



胃は寒を好み熱を悪む
脾は熱を好み寒を悪む



胃は降濁を主り、脾は昇清を主る

ご清聴ありがとうございました

いが漢方内科金のさじ診療所

伊賀文彦